

◆ コンピュータの設定

1 XAMP Pのインストール

実習では、A p a c h e、P H P、M y S Q Lなどのサーバツールが必要となる。これらをひとつのパッケージにした「XAMP P」をW i n d o w s環境にインストールする。

ダウンロードサイト <http://www.apachefriends.org/jp/xampp-windows.html>
xampp-win32-1.6.4-installer.exe を上記サイトよりダウンロードしてインストールする。

- ① ファイルをダブルクリックすると、図2-1があらわれる。
次へボタンをクリックする。

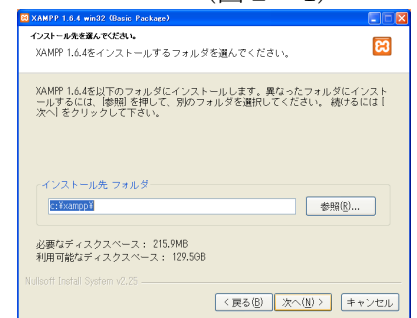
- ② 次にインストール先フォルダの選択画面（図2-2）があらわれる。特に指定しない場合は、デフォルトのc:\xampp\のまま、次へボタンをクリックする。

- ③ インストールするソフトウェアの選択画面（図2-3）があらわれる。サービスはすべてチェックを入れておく。確認のうえインストールボタンをクリックする

- ④ 最後に完了ボタンをクリックし、インストールを終了する。



(図2-1)



(図2-2)



(図2-3)

2 M y S Q Lの操作

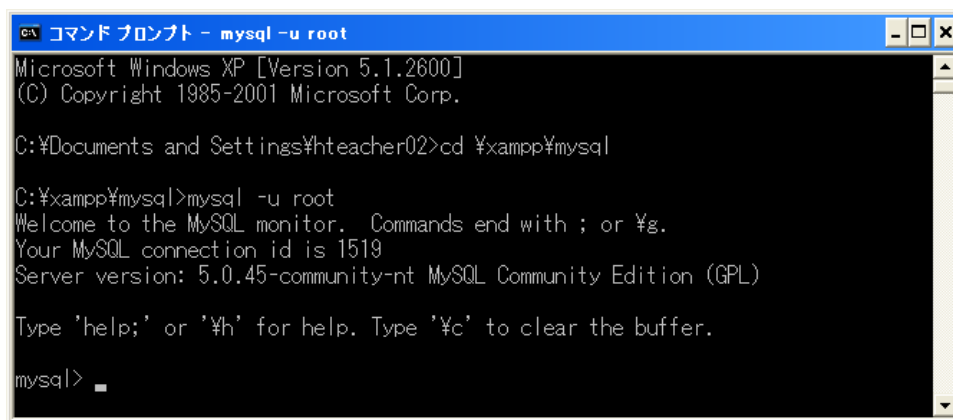
スタート画面より、コマンドプロンプトを立ち上げる。(すべてのプログラム→アクセサリを選ぶ、あるいは「ファイル名を指定して実行」より、c m dとタイプしてOKボタンを押す)

c d ¥ x a m p p ¥ m y s q l ENTER

← 半角入力

`mysql -u root` ENTER

ここまでの操作で、図 3 - 1 のような画面になる。



(図 3 - 1)

`mysql>` の状態で、データベースの作成、変更、削除などの各種操作が行える。
終了するときは、`quit` ENTER を実行する。

※ MySQL のパスを登録する

コントロールパネルの「システム」－「詳細設定」－「環境変数」ボタンをクリックする。下側の「システム環境変数」のリストから「Path」をクリックで選択し、編集ボタンを押す。
変数値の文末に

`; c : ¥ x a m p p ¥ m y s q l ¥ b i n`

という文字列を書き加え、「OK」で閉じ、パネルも閉じる。再起動後にパスが有効となる。

次回からは、`mysql -u root` ENTER のみでOKとなる。

3 データベースの作成（登録用データベースの構築）

今回は、擬似フィッシング詐欺サイトを作成するために、データベースのフィールドの定義から始める。

名前	:	
ふりがな（全角）	:	
郵便番号（半角）	:	
住所	:	
ビル・マンション名等	:	
電話番号	:	
カード会社	:	
カード番号（半角）	:	
有効期限	:	月／年

(図 4 - 1)

暗証番号（4桁）	:
セキュリティ番号	:

図4-1の基本設計から、次のように項目を設定する。

項目内容	フィールド名	属性
連番	r e n b a n	i n t
名前	n a m a e	c h a r (4 0)
フリガナ	f u r i g a n a	c h a r (4 0)
郵便番号	y u b i n	c h a r (7)
住所1	j u s h o 1	c h a r (1 0 0)
住所2	j u s h o 2	c h a r (1 0 0)
電話番号	d e n w a	c h a r (2 0)
カード会社	c a r d c o m	c h a r (2 0)
カード番号（半角）	c a r d b a n	c h a r (2 0)
有効期限月	y u k o t u k i	c h a r (2)
有効期限年	y u k o n e n	c h a r (2)
暗証番号	a n s h o	c h a r (4)
セキュリティ番号	s e c b a n	c h a r (3)

※ テーブル名は、「p h i s h i n g」とする。

コマンドプロンプトを立ち上げて、m y s q l > の画面にする。（前章参照）

最初に、create database sample; を実行する。

use sample; を実行しS Q Lモニタを起動する。

次に以下のクエリをタイプし、**ENTER**を押す。

```
Create table phishing (renban int,namae char(40),furigana char(40),yubin char(7),jusho1
char(100),jusho2 char(100),denwa char(20),cardcom char(20),cardban char(20),yukotuki
char(2),yukonen char(2),ansho char(4),secban char(3));
```

次のコマンドで作成されたフィールドを確認します。

```
show fields from phishing;
```

つづいて r e n b a n に自動連番を割り付け、インデックスの設定を行う。

```
alter table phishing add index ind1(renban);
```

```
alter table phishing modify renban int auto_increment;
```

4 疑似「フィッシング」サイトの作成（PHPスクリプトの作成）

（１）フォームの作成

XAMP PインストールによるW e b ルートは、

C:\xampp\htdocs\xampp

がデフォルトになります。

上記のフォルダにHTMLやPHPのファイルを保存します。

まずHTMLでフォームを作成します。（ファイル名「phishing1.html」）
記述ソースは、メモ帳あるいはその他のエディタを使って確認してください。

（２）受け入れ用PHPの作成

フォーム文から、MySQLにデータを登録するPHPを記述します。

（ファイル名「touroku2.php」）

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<html lang="ja">
<head>
<title>データベース登録</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
</head>
<body>
<?php
extract($_POST);
mysql_connect('localhost','root');
mysql_select_db('sample');

$sql="insert into phishing values(0,$nam','$furi','$yu1','$todo','$ju','$tel',
'$scacom','$caba','$tuki','$nen','$snsho','$sno)";
mysql_query($sql);
?>
</body>
</html>
```

【参考文献等】

「MySQL入門以前」	石田 豊 著	毎日コミュニケーションズ
「PHPの絵本」	(株) アंक 著	翔泳社
ネット社会の歩き方	http://www.cec.or.jp/net-walk/	
フィッシング詐欺対策協議会	http://www.antiphishing.jp/index.html	